



人とのつながりを大切に 季節に合った新鮮な野菜を作る

野菜経営 高良内町 増崎 信之介さん(31歳) 真由美さん(28歳)

自分らしい経営スタイル

ねぎ農家だった祖父の後継者として就農した増崎信之介さん。最初は見よう見まねで手伝いをしていましたが、3年目からは自分で野菜を作り始めました。

主にねぎを中心とした経営から、現在では、ねぎ・ほうれん草・ブロッコリー・とうもろこし・白菜・春菊・水菜など、多品目・多品種の野菜を季節に合わせて作っています。「珍しいものを作ることが好きです。」と語る信之介さんらしい経営を行っています。

つながりを大切に農業を楽しむ

J A青年部や認定農業者協議会にも所属している信之介さんは、先輩農家の方との付き合いを大切にし、アドバイスや情報を吸収しながら自分の経営に活かしています。

出荷先は消費者の顔が見える直売所が中心です。珍しい野菜は写真を使ったポップを作るなどの工夫を行っています。結婚して初めて農業に携わる真由美さんは、「農作業は大変だけど、夫婦で一緒に仕事をしながらコミュニケーションをとれるところが良いですね。」と夫婦での農業経営を楽しんでいます。

将来の夢・想い

「直売所での販売を充実し、「増崎さんちの野菜を食べたい」と言ってもらえるようになりたい。」と話す信之介さんと、「自分達の野菜を使った料理教室を開いて、その美味しさを伝えたい。」と話す真由美さん。夫婦で人とのつながりを大切にしながら、多くの人に喜んでもらおうと、新鮮で美味しい野菜の生産に日々汗を流しています。

